

令和元年度

社会福祉法人 大阪市西淀川区社会福祉協議会 事業報告(案)

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

1 法人運営事業

社会福祉法人改革に対応すべく、透明性や信頼性の向上などに努めつつ、本会の見える化を進めるなど、様々な取り組みを展開しました。

(1) 社会福祉法人制度改革への対応及び組織の強化

- ① 透明性・信頼性の向上（コンプライアンス意識向上、個人情報の保護の徹底）
- ② 体制の強化（外部研修会への参加勧奨・組織内研修の充実、多様な雇用形態の職員の採用）
- ③ 適正な法人運営（理事会・評議員会の開催）
- ④ 会員組織の充実（組織の充実、賛助会員の増加）

事業詳細	時期	内容
職員研修会	12月12日	コンプライアンス研修（40名参加）
	12月18日	
	1月8日	
	1月9日	
	1月10日	
職員募集	通年	常勤嘱託職員3名採用
理事会	5月31日	事業・決算報告など（13名出席）
	6月25日	会長・副会長の選任（13名出席）
	12月4日	固定資産購入、会長職務執行状況報告書（11名出席）
	3月17日	事業計画・予算案など（8名出席）
評議員会	6月20日	事業・決算報告など（25名出席）
	3月27日	事業計画・予算案など（17名出席）
会員組織	通年	組織構成会員：30団体 賛助会員：10団体、個人27人

(2) 善意銀行の運営

- ① 受付・払出（日常的に受付、福祉事業や団体の活動に払出）
- ② 払出先の募集（払出先の募集・審査、適切な助成）

事業詳細	時期	内容
善意銀行の運営	通年	寄付等受付：22件、払出：20団体
運営委員会 （払出部会）	5月31日	収支報告、特定テーマ払出申請団体など（6名出席）
	12月4日	歳末助け合い運動にかかる助成など（4名出席）
払出先の助成	通年	「福祉ボランティア活動応援資金」18団体 区母と子の共励会、区民生委員児童委員協議会

(3) 共同募金ならびに日赤業務との連携・協力

- ① 共同募金への協力（共同募金運動の広報や啓発、街頭募金活動、配分金の配分）
- ② 日赤業務との連携・協力（社資募集業務に協力）

事業詳細	時期	内容
共同募金	通年	共同募金の配分金（2,257,159円） （配分先：金婚夫婦お祝い品（195組）、各地域社協、区老人クラブ連合会、区民生委員児童委員協議会、区体育厚生協会、区手をつなぐ親の会、NPO法人にしよどにこネット、特定非営利活動法人いきいき、区障がい者地域自立支援協議会、みてアート実行委員会、にしよど現代図工室）
		地区募金会事務
		10月1日～12月31日「赤い羽根共同募金運動」街頭募金活動及び一般募金実績（3,652,224円）
日赤活動	通年	社資募集に協力

(4) 「社会福祉協議会活動の見える化」広報・情報発信機能の充実

- ① 情報発信の充実（「区社協だより」の発行、ホームページ・SNSの活用、パンフレットやリーフレットなどを活用）
- ② 区社協の見える化の推進（会員募集や事業周知の充実、区社協ユニフォームの活用）
- ③ 区社会福祉大会（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

事業詳細	時期	内容
区社協だより	夏号（8月）	31,000部、新聞折り込み・配架・送付 など
	冬号（2月）	31,000部、新聞折り込み・配架・送付 など

情報発信	通年	ホームページ、フェイスブックの活用
		パンフレット、リーフレットの活用
社会福祉大会	2月22日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(5) 各地域団体との連携・協力

① 各地域団体との連携・協力（区地域振興会、地域社協委員長会の開催7）

事業詳細	時期	内容
地域団体活動支援	通年	地域振興会 会長会（第4水曜日、12回） 地域社協委員長会（1回）

2 地域福祉活動支援事業

住民参加や協働による福祉活動の充実、福祉コミュニティづくりなど、「(仮称)西淀川区地域福祉計画・地域福祉活動計画」の策定に向け、地域福祉推進ビジョンの推進や小地域福祉活動の活性化、災害発生時に備えた対応、福祉教育などに取り組みました。

(1) 地域福祉推進ビジョンの推進

① 地域福祉推進ビジョンの推進（策定委員会、プロジェクト会議の開催）

事業詳細	時期	内容
地域福祉推進ビジョン	通年	地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会（7回） プロジェクト会議（7回）

(2) 地域福祉活動の支援

- ① 地域課題の把握・解決策の検討（「縁活」プロジェクト GO!GO!GO!）
- ② 地域福祉活動連絡会の開催
- ③ 各種団体・関係機関・施設との連携強化（「社会福祉施設連絡会」「子ども・子育て支援連絡会」「自立支援協議会」の開催、「ふくふくまつり」の開催）

事業詳細	時期	内容
地域課題の把握・解決策の検討（「縁活」プロジェクト GO!GO!GO!）	通年	アンケート報告及びワークショップ <ul style="list-style-type: none"> ・川北地域 4月25日 19名参加 ・歌島地域 5月16日 8名参加 ・野里地域 5月30日 19名参加 ・竹島地域 11月28日 5名参加 ・大野百島地域 12月19日 5名参加 ・柏里地域 12月21日 12名参加

地域福祉活動連絡会の開催	通年（奇数月）	地域における多文化共生の実態、区内子ども食堂の現状、もしばなカード、地震・津波から命を守るために等 計5回開催 3月（コロナの影響により中止）
団体・関係機関等との連携強化	通年	社会福祉施設連絡会：2回、24施設 役員会2回 自立支援協議会：12回参加 子ども・子育て支援連絡会：12回 西淀川子どもネット会議：5回参加 ふくふくまつり（11月2日、約700名）

(3) 災害発生時における支援体制の強化

- ① 災害発生時における支援体制の強化（「区社協災害対策本部」「福祉避難所開設合同訓練」の実施）

事業詳細	時期	内容
市・区社協災害対策本部設置訓練	12月25日	13名職員参加
福祉避難所開設合同訓練	2月24日	新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止

(4) 福祉教育の推進と支援・その他

- ① 福祉教育の推進と支援（小・中学校での福祉体験学習支援）
 ② 認知症の理解促進（キャラバン・メイト連絡会の開催、「認知症サポーター養成講座」の実施支援）
 ③ 用具等の貸出・払出（大型遊具・車いす等の貸出、寄付物品などの払出）

事業詳細	時期	内容	
福祉教育	淀中学校	7月1、4日	3年生154人、2年生140人、車いす体験・当事者の講話
	香簑小学校	11月22日	4年生50人、車いす体験・当事者の講話
	佃西小学校	1月28日	4年生71人、車いす体験・当事者の講話
	佃中学校	2月12日	2年生143人、車いす体験・当事者の講話
認知症の理解促進	通年	認知症サポーター養成講座（9回、参加者149名） 認知症キッズサポーター養成講座（1回、参加者14名）	
		キャラバン・メイト連絡会（7回）	
用具等の貸出・払出	通年	大型遊具の貸出：1件 車いすの貸出：89件 ハチ食品寄付物品払出：25件	

(5) ボランティア・市民活動センターの運営

- ① ボランティア・市民活動の推進（相談・支援、需給・調整、「ボランティア情報誌」の発行、機材やスペースの貸出、助成の案内・申請受付、「ボランティア保険の受付・取り次ぎ」）
- ② ボランティア・市民活動センターの運営（センターの開放、資・器材の貸与、ボランティア・市民活動センター運営委員会の開催）
- ③ ボランティアの発掘・育成（ちよいボラおやじの会、保育ボランティアサロンの開催）
- ④ 多様な活動の連携・協働推進（「にしよどリンク（異業種交流会）」「ボラセン GO！連絡会」「交流カフェふくふく」の開催）
- ⑤ 広報・啓発活動（活動情報の発信、「ボランティアエキスポ」の開催 など）

事業詳細		時期	内容
活動推進	登録	通年	個人：220人（前年度230人） グループ：42グループ（前年度42グループ）
	需給調整	通年	活動希望：22件（個人） 行事支援：71件（保育ボランティア、地域行事など） 施設等支援：17件
	相談支援	通年	個人：32件 電話（19件）、来所（13件） 保育：99件 FAXのみ パフォーマンス：56件 電話（43件）、来所（13件）
	情報誌	通年	年間：3,207部送付
	ボランティア保険	通年	活動保険：111件（前年度127件） 行事保険：174件（前年度195件）
運営委員会		6月17日 10月7日 2月17日	出席：11名、事業計画・予算 など 出席：13名、活動状況 など 出席：13名、事業報告 など
発掘・育成	組織化	通年	ちよいボラおやじの会「定例会」（10回） ちよいボラおやじの会「趣味の会」（11回） 保育ボランティアサロン（11回）
	養成講座	通年	保育ボランティア養成講座（中止）
活動支援	センター開放	通年	のべ344回（42グループ中22グループ利用）
	資・器材貸与	通年	輪転機・コピー機などを貸出
連携・協働活動		通年	にしよどリンク（偶数月6回）企画運営会議（6回） ボラセンGO！連絡会（4回） 交流カフェふくふく（4回）
広報・啓発活動		通年	区民まつり（9月21日（土）） ボランティアエキスポ（5月26日（日））

3 要援護者の見守りネットワーク強化事業

福祉専門職の「見守り支援ネットワーカー」と、各地域に配置する「地域福祉活動支援コーディネーター」が連携し、要援護者名簿の同意確認や地域における「見守りネット倶楽部」の推進、担い手の発掘・育成などを進めました。

(1) 要援護者支援の充実

- ① 要援護者情報の集約・提供（「地域福祉活動支援コーディネーター」の配置、要援護者の地域団体等への情報提供に係る同意確認・地域への提供、地域の見守り活動へのつなぎ）
- ② 援護が必要な方の発掘・つなぎ（「見守り支援ネットワーカー及びコーディネーター」による訪問、関係先との調整）
- ③ 認知症見守りネットワークの構築……認知症高齢者等の行方不明時の早期発見、保護のための仕組みとして、徘徊事前登録及び協力者へ「発見メール」の配信。

事業詳細	時期	内容
要援護者情報の集約・提供	通年	見守り支援ネットワーカー（2名配置）
		地域福祉活動支援コーディネーター（12名配置）
		同意確認（郵送 885 件・回答数 607 件・同意 408 件） （訪問 588 件・回答数 362 件・同意 253 件）
孤立世帯等への対応	通年	見守り支援ネットワーカー及びコーディネーターによるアウトリーチ （訪問 1636 件・電話 714 件・来所 198 件・その他 44 件）
認知症高齢者見守りネットワーク	通年	事前登録者（のべ 159 名） 協力者（メール配信者）（のべ 107 名） 発見件数：7 件 徘徊模擬訓練：21 人

(2) 要援護者支援「見守りネット倶楽部」・地域福祉担い手育成事業

- ① 「見守りネット倶楽部」の推進・地域福祉の担い手の育成…（「見守りネット倶楽部」の構築、人材の発掘・育成、シンポジウムの開催）

事業詳細	時期	内容
見守りネット倶楽部サポーター会議等への出席	通年	千舟 3 回、出来島 3 回
シンポジウム	11 月 18 日	テーマ：地域がつながる見守り活動のすすめ方 活動報告：佃地域、大野百島地域、出来島地域 参加人数：120 人

4 生活困窮者自立相談支援事業

社会的孤立・経済的困窮により生活困難を抱える方々の早期把握と自立に向けた支援を株式会社アソウ・ヒューマニーセンターと共同体として取り組みました。

(1) 相談窓口の運営

① 相談受付・提案（支援と解決につながる具体策の提案・紹介）

区役所生活自立相談・就労支援窓口より情報提供

事業詳細	時期	内容
相談受付・対応	通年	相談受付：317件（前年度 313件）
		家庭訪問・同行支援：100回（前年度 98回） 関係機関等訪問：6回（前年度 37回）
		就労支援プラン作成：60件（前年度 37件） （一般就労 55名、中間就労・就労準備 1名）

5 生活福祉資金貸付事業

低所得者、障がい者または高齢者の世帯を対象に、経済的自立と生活の安定をめざすことを目的に、資金制度の相談窓口として、さまざまな生活課題を抱える人たちに対して支援しました。

(1) 相談窓口の運営

① 生活福祉資金貸付事務事業の推進（相談対応、貸付、民生委員・児童委員へのつなぎ、コロナウイルスの影響による生活支援貸付相談）

事業詳細	時期	内容
生活資金等の相談 受付・対応	通年	福祉資金・教育支援資金 ・電話：569件、窓口：338件、申込書配付：157件
		総合支援資金 ・電話：22件、窓口：11件、申込書配付：12件
		新型コロナウイルス感染特例緊急小口・総合支援資金 ・電話：97件 窓口：54件、申込書配布：46件

※新型コロナウイルス感染症特例緊急小口・総合支援資金の相談件数は、3月25日～31日まで

6 生活支援体制整備事業

介護保険制度では賄うことができない多様な生活支援ニーズに応えるため、関係機関及び様々な団体・企業・NPOなどとネットワーク（協議体）を構築し、多様な主体、特に高齢者自身が主体となる居場所の創出などに取り組みました。

(1) 生活支援体制の整備

- ① ネットワーク（協議体）の構築（関係機関及び様々な団体・企業・NPOなどの事業主体とネットワークを構築、高齢者のニーズ・課題の把握及び共有）
- ② 区内の高齢者の生活支援ニーズの把握（協議体会議ワーキング部会（身近な居場所の創出部会）にて高齢者の生活支援のニーズについてヒアリング及びアンケート調査を実施）
- ③ 身近な地域の居場所の創出（新規立ち上げ支援及び既存地域資源の拡充支援）
- ④ 有効活用可能なスペースの発掘・開発・担い手とのつなぎ（空き店舗などの発掘・開発、担い手養成講座の開催）
- ⑤ 様々なサービス実施情報の周知等（効果的な啓発、周知の充実）

事業詳細	時期	内容
ネットワークの構築	通年	協議体会議（2回） 身近な居場所の創出部会〔西淀川区地域包括支援センター〕（5回） 身近な居場所の創出部会〔南西部地域包括支援センター〕（9回） 有効活用ネットワーク部会（3回） 在宅医療・介護連携推進区民啓発部会（6回） 西淀川区 ^得 に～よん参考書～コミュニティ情報編～作成部会（6回）
区内の高齢者の生活支援ニーズの把握	通年	身近な居場所の創出部会にてヒアリング及びアンケート調査
身近な地域の居場所の創出	通年	新規立ち上げ支援（5か所） 既存資源の拡充（4か所）
有効活用可能なスペースの発掘・開発・担い手とのつなぎ	通年	地域密着型サービス事業所の訪問（11か所） 担い手養成講座『よりそう（傾聴）ボランティア講座』（1月～、定員30名）全5回のうち2回開催（※感染症拡大防止対策のため延期）
様々なサービス実施情報の周知等	通年	地域資源一覧『西淀川区 ^得 に～よん参考書～コミュニティ情報編～』発行（3月、13,000部） ミニ講座の開催（8回）

7 あんしんさぽーと事業（日常生活自立支援事業）

認知症や知的障がい、精神障がい等により判断能力が不十分な方が地域で自立した生活を送られるよう、福祉サービス等利用援助、金銭管理・預かりサービスを行った。

(1) 権利擁護の取り組み

- ① あんしんさぽーと事業（日常生活自立支援事業）の推進（福祉サービスの利用援助や日常の金銭管理・証書等の預かりサービスを実施）
- ② 成年後見制度の紹介・利用促進（「成年後見人制度」の紹介、申立の支援、情報提供・相談 など）

事業詳細	時期	内容
あんしんさぽーと事業（日常生活自立支援事業）	通年	サービス利用件数：81件（前年度81件） （認知症高齢者等36人、知的障がい者等23人、精神障がい者等21人、その他1人） 契約締結件数：9件（前年度4件） 契約解約件数：9件（前年度9件） 初回相談受付件数：14件（前年度14件）
		相談延べ件数：4,290件（前年度4,013件） ・電話・来所：認知症高齢者等974人、知的障がい者等656人、精神障がい者等621人、その他99人 ・訪問：認知症高齢者等786人、知的障がい者等506人、精神障がい者等624人、その他24人
成年後見制度	通年	情報提供：2件

8 地域包括支援センター事業

歌島中学校区と佃中学校区を担当圏域としています。高齢者のみなさんが住み慣れた地域で安心して暮らすため、個別課題をまとめ、地域課題を把握し、地域包括ケアシステムの構築・深化に向けて取り組みました。

(1) 総合相談支援及び権利擁護業務

- ① 総合相談支援…初期段階での個別相談対応に加え、必要に応じて継続的・専門的な相談支援を行いました。
- ② 権利擁護……高齢者虐待対応、成年後見申立て支援、消費者被害防止等に取り組みました。
- ③ 地域包括ケアシステム構築に向けた取組の推進…地域包括ケアシステムの構築にむけて、ネットワーク構築のための会議、地域との関係づくりに取り組みました。

事業詳細	時期	内容
総合相談業務	通年	相談実人員：827人（前年度1,004人） （認知症疑い有：225人、訪問による相談実人員：495人）
		相談延べ件数：5,450件（前年度6,550件） （訪問・出張：1,264件、電話：3,408件、来所：564件、 その他：214件）
		相談内容 家族・家庭問題：121件、経済・生活問題：796件 介護サービ：1,350件、介護予防サービス：627件 介護予防・日常生活支援総合事業：551件 福祉サービス：204件、保健・医療サービス486件 虐待に関すること：374件、成年後見制度の活用：268件 生きがいつくり：554件、その他119件
権利擁護	通年	高齢者虐待受理・対応件数 ・前年度より継続対応：11件 ・令和元年度受理分：32件
		成年後見制度申立て支援 ・前年度より継続対応：8件 ・令和元年度受理分：13件
		消費者被害防止のための取組み ・区内で把握した消費者被害の情報発信：5件 ・地域包括支援センターちらしに特殊詐欺記事を掲載 ・NN ニュース withTY に警察からの記事を掲載 ・エルちゃんのトラブルバイバイ♪ニュース（大阪市消費者センター）、見守り新鮮情報（国民生活センター）等の情報発信：毎月
地域包括ケアシステム構築	通年	専門機関・行政・地域等との連携 ・ネットワーク構築のための会議：129回 ・地域との関係づくり：102回

(2) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域の高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるように、個々の高齢者等の状況や変化に応じたケアマネジメントができるように、地域における連携・協働の体制づくりや個々の介護支援専門員を支援した。

事業詳細	時期	内容
介護支援専門員の支援	通年	介護支援専門員からの個別相談：925件（前年度964件）
		居宅介護支援事業者連絡会の開催支援 ・居宅介護支援事業者連絡会：5回 ・居宅介護支援事業者運営委員会：7回
		介護支援専門員への研修会（当センター主催） ・3回（前年度3回） 「認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援ガイドラインと成年後見制度」 「自立支援につながる介護予防ケアマネジメント推進のための研修会（連続講座：2回）」

(3) 地域ケア会議

- ① 地域ケア個別会議…個別ケース検討の地域ケア会議、事例検証：振り返りの地域ケア会議を開催しました。
- ② 自立支援型ケアマネジメント検討会議（小会議含む）…高齢者の自立支援・重度化防止の資するケアマネジメントを支援するため開催しました。
- ③ 地域課題整理のための地域ケア会議…地域ケア個別会議、自立支援型ケアマネジメント検討会議等で把握した個別課題・ニーズをまとめ、そこから見えてきた地域課題について多職種・他職種、地域の方等で検討しました。

事業詳細	時期	内容
地域ケア会議	通年	個別ケース検討：29回
		事例検証・振り返り：1回
		自立支援型ケアマネジメント検討会議：10回（小会議含む）
		地域課題整理：2回

(4) 介護予防支援事業（第1号介護予防支援事業含む）

要支援 1・2 の利用者及び事業対象者の日常生活の自立のため、介護予防の効果的かつ自立を引き出すための支援を行い、介護予防サービス及び介護予防・生活支援サービスが確保されるようにケアプランを作成しました。さらに、自立支援・介護予防・重度化予防のため、インフォーマルサービスについて、十分に情報提供を行い、必要に応じてケアプランへ位置づけました。

事業詳細	時期	内容
介護予防支援事業	通年	令和2年3月時点でのケアプラン作成：415件
介護予防ケアマネジメント	通年	令和2年3月時点でのケアプラン作成：249件

- ※ 介護予防ケアマネジメント(第1号介護予防支援事業)は、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス(訪問型サービス、通所型サービス)のみを利用している利用者へのケアプラン作成
- ※ 指定介護予防支援事業は、介護予防サービス(訪問看護、訪問リハビリテーション、通所リハビリテーション、福祉用具貸与等)を利用している利用者へのケアプラン作成
- ※ ケアプラン作成数は、給付管理数を記載。

(5) 家族介護支援事業

家族介護者として心構え、介護・介護予防の視点を持ち介護ができるように「ふくふく介護予習スクール」を開催しました。また、介護の悩みや気持ちを話してもらえるように「ひまわりの会」「ひょうたんの会」の開催を支援しました。

事業詳細	時期	内容
家族介護支援	9月26日	ふくふく介護予習スクール全3回 「こけたらアカン～転倒予防の身体づくりを教えます～」20人 「いつまでも美味しくごはんが食べられるために」10人 「今日からはじめよう人生会議」19人
	11月28日	
	1月23日	
	通年（月1回）	家族介護者の会「ひまわりの会」のべ参加者 105人
	通年（月1回）	男性介護者の会「ひょうたんの会」のべ参加者 45人

9 介護予防事業（なにわ元気塾）

地域の老人憩いの家などで、65歳以上の方を対象に、生活空間を広げ、認知機能や生活全般の活性化を図ることを目的に、外出の機会、地域の人との交流の機会を増やすなど、自立した活動的な生活を送っていただけるよう、事業を実施しました。

(1) 介護予防事業（なにわ元気塾）

① 介護予防教室（体操やレクリエーション、音楽、手工芸など）

事業詳細	時期	内容
介護予防教室 （なにわ元気塾）	通年	柏里地域：11回・311人（前年度357人）
		野里地域：11回・81人（前年度95人）
		歌島地域：11回・259人（前年度294人）
		香簀地域：11回・227人（前年度245人）
		竹島地域：11回・98人（前年度85人）
		佃地域：10回・192人（前年度248人）
		大和田地域：11回・135人（前年度165人）
		千舟地域：11回・152人（前年度108人）
		姫里地域：11回・241人（前年度184人）
		姫島地域①：11回・146人（前年度323人）
		姫島地域②：10回・92人（前年度111人）
		福地域：11回・91人（前年度116人）
		大野百島地域：11回・78人（前年度86人）
		川北地域：10回・140人（前年度128人）
		出来島地域：10回・238人（前年度218人）
合計 161回・2481人（前年度2,678人）		

※令和2年2月20日から新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

10 通所介護事業（デイサービス）

介護保険サービスとして、通所サービス（送迎・入浴・食事・レクリエーション・生活相談など）を提供しました。

(1) 通所サービス、介護予防型・短時間型通所サービス

① 通所デイサービス（送迎・入浴・食事・レクリエーションなどの提供）

事業詳細	時期	内容
通所介護・介護予防通所介護事業	通年	開所日：245日・利用：1,908人（前年度1,918人） 登録者（要支援1：162人、要支援2：428人、 要介護1：595人、要介護2：549人、 要介護3：113人、要介護4：54人、要介護5：67人）

11 老人福祉センター事業

「西淀川区老人福祉センター」の管理運営とともに、高齢の生きがいと健康づくり、社会参加に向けた情報提供などを行いました。

※新型コロナウイルス感染症予防対策のため3月は閉館

(1) 西淀川区老人福祉センターの管理運営

- ① 生きがいづくり事業（様々な事業の開催、自主サークル活動の支援、ボランティア活動の支援）
- ② 健康づくり事業（骨盤体操教室、「おとなのてらこや」などの開催、「いきいき百歳体操」「に～よん健康体操」の普及促進）
- ③ 世代間交流事業（「に～よん文庫」「こども囲碁教室」の実施）
- ④ 老人クラブ活動への支援（区老人クラブ連合会事務局、地域の老人クラブ活動の支援 など）

事業詳細	時期	内容
センターの運営	通年	延利用人数：21,648人（前年度27,616人） 登録者数：20,060人（新規登録人数：164人）
生きがいづくり事業	通年	各種教室：188回・2,229人 （いご教室、女性部民踊、手作り、に～よん文庫など） ※世代間交流事業との重複案件を含む

	通年	民踊サークル：23回・389人 フラダンス：45回・891人 カラオケサークル（2グループ）：85回・2,130人 その他サークル：720回・13,089人 （歌体操・編物・歩こう会・生花・楽しい歌広場・楽謡会・水彩画・カメラ・コーラス・詩吟・習字・手話・俳句・パッチワーク・フォークダンス・ペン習字・太極拳・リズム体操・歌声喫茶・3B体操）
	通年	お楽しみ会：3回・163人 お誕生会：3回・49人 その他（年忘れお楽しみ会など）：38回・767人 ※世代間交流事業との重複案件を含む
健康づくり事業	通年	骨盤体操：6回・98人 大人のてらこや（認知症予防）：12回・333人 いきいき百歳体操：44回・1775人 歯科講演会：1回・37人
世代間交流事業	通年	こども囲碁教室：56回・208人 に～よん文庫：47回・277人 年忘れお楽しみ会：1回・32人 アヤカルテット演奏会1回・22人 ふれあいフェスティバル（中止） ※（生きがいつくり事業との重複案件）
老人クラブ活動	通年	区老人クラブ連合会事務局
		ふれあいフェスティバル：中止

12 西淀川区子ども・子育てプラザ

「西淀川区子ども・子育てプラザ」の管理運営と、「地域子育て支援拠点事業（つどいの広場事業）」などを通じて、乳幼児期の親子や子育て支援関係者、子どもたちが集い・交流する機会などを提供するなど、子育て世帯や子どもなどの支援を展開した。

※台風により2日間及び新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2月末～3月は事業を中止。（ファミリー・サポート・センター事業、相談業務は除く）

(1) 大阪市子育て活動支援事業

- ① 子育て情報の収集、管理、提供（区内子育て支援情報誌の発行協力、ホームページの更新、「プラザイベント情報紙」の発行など）
- ② 地域の自主的な子育て活動支援（運営面での助言・場所の提供・遊具の貸出、「子育て支援ボランティア養成講座」の開催）
- ③ 子育て中の親子の支援（子育て支援講座や学べる機会を提供）

- ④ 児童の健全育成（自由機会・ふれあい機会の提供、出前講座）
- ⑤ 地域関連・その他（「区民まつり」「ふくふくまつり」「縁日」「児童対象絵本展」「に～よん文庫」「多文化交流」など）

事業詳細	時期	内容
プラザ（全体）	通年	開設日数：302日（前年度306日） 利用者数：37,986人（前年度40,614人） 相談件数：1,097件（前年度1,107件）
登録者数（全体）	通年	乳幼児：1,026人、保護者：753人、小学生：540人、 中・高校生：68人 合計：2,387人（前年度2,307人）
	通年	子育てサークル：0団体 一般グループ：10団体 大阪市利用団体：1団体
ホームページ	通年	「おおさか子育てネット」、「西淀川区社協」随時更新
プラザイベント情報紙	通年	プラザイベント情報紙の発行：92,354部、配布先：100か所（のべ1,095か所）
子育て活動支援事業	通年	開設日数：302日（前年度306日） 利用者数：23,135人（前年度25,122人） 相談件数：208件（前年度108件）
自主的な活動支援	通年	子育てサロン・ボランティアへの支援等12回：68人
子育て支援ボランティア養成講座	5月8日～ 10月30日～	2クール各3日間、6回：のべ17人
ファミサポ提供会員養成講座	5月8日～ 5月23日	24時間講座 受講：9人（のべ60人）うち登録6人
子育て中の親子支援	通年	<遊び場の開放>274日：2,900人 <子育て支援講座>29事業：70回・3,344人 （ベビーマッサージ、リラックスヨガ、親子でお菓子作り、公園であそぼう、ハロウィンパーティー、クリスマスパーティー、パパの子育て支援事業など）
児童健全育成	通年	<自由あそび>274日・6,357人 <体験活動等>23事業：31回・759人 （おやつ作り教室、工場見学、ミニ夏まつり、ハロウィンパーティー、子どもボランティア体験、クリスマス会、講座「家庭でできる支援を考える」、出前講座「逃走中」など）
地域関連	9月15日など	「区民まつり」、「縁日」など3事業：1,281人
区事業	通年	絵本展・地域子育てサロン・に～よん文庫・多文化交流などへの協力：60回・4,715人

一般利用	通年	利用回数：305回・2,930人
その他	通年	会議・研修受け入れ等：704人

(2) 大阪市ファミリー・サポート・センター事業（支部業務）の推進

- ① ファミリー・サポート・センター事業の推進（子育て援助を行いたい人と援助を受けたい人をコーディネートなど）

事業詳細	時期	内容
ファミリー・サポート・センター	通年	開設日数：302日（前年度306日） 利用者数：2,376人（前年度2,001人）
会員状況	通年	依頼会員：109人、提供会員：46人、両方会員：10人、ペア数：141組、活動件数：389件
サブリーダー会議	4月18日 6月26日 9月27日 1月15日 3月18日	「平成31年度事業内容とファミサポ通信について」 「学習会、交流会について」など5回：のべ15人
交流会・学習会	9月28日 11月16日	「無償化について」、「普通救命講習Ⅲ」「チャームづくり」など3回：79人 ※3月は中止
会報の発行	年4回	ファミサポ通信：644部
その他	通年	入会・更新手続き、事業説明など：2,297人

(3) 大阪市地域子育て支援拠点事業（つどいの広場事業）

- ① 子育て親子の交流の場の提供（「つどいの広場」の実施、川北・竹島での「ミニつどいの広場」の実施）
- ② 子育て相談（日常的な相談、子育て支援室や関係機関との連携を強化）
- ③ 子育て支援に関する講習（子育て支援情報の提供、「子育て支援講座」の開催、「ブックスタート」の実施）
- ④ ブックスタートの実施

事業詳細	時期	内容
つどいの広場	通年（週5日）	開設日数：225日（前年度248日） 利用者数：12,473人（前年度13,491人）
ミニつどいの広場	通年（月2回）	川北地域、竹島地域で各月2日開催、日数：43日、 参加：463人
相談と援助	通年	相談件数：889件（前年度999件）

子育て支援講習	通年	5事業：81回、参加者数：1,161人
ブックスタート	通年	プラザ・川北地域・竹島地域・福町地域 実施回数：45回、参加者数：277人